

地域エネルギーマネジメントの将来像

1 再生可能エネルギー普及の視点

- ・不安定な再生可能エネルギーを需給バランスのマネジメントを行うことで安定的に電力を供給する。
- ・FIT制度に支えられた再生可能エネルギーを取り込むことで安価な電力を供給する。

2 安定・安価なエネルギー実現の視点（供給側）

- ・不安定な再生可能エネルギーを支える火力発電は安価な電力供給を可能とする。（規模が大きいほどその効果は大きくなる）
- ・様々なエネルギー（再エネ・火力）を組み合わせることで、環境負荷を抑えた電力供給を可能とする。

3 安定・安価なエネルギー実現の視点（需要側）

- ・需要家に、見える化サービスを提供することで、電力需要の抑制につなげる。
- ・需要家がピークシフトやピークカットすることで、対価を得るとともに電力需要の平準化につなげる。

4 新たなサービス（生活支援等）実現の視点

- ・民生部門にITを活かし、お出かけ情報やエコポイント情報を伝えることで、電力需要の低減を図る。
- ・エネルギーエコツアーを開催し、電力の賢い使い方などを地域住民や学生に周知することでエネルギーに強い市民を育てる。